

平成31年度 社会福祉法人能生名立福祉会 事業計画

1. 理念

(1) 法人理念

“当法人は、働く人を幸せにするためにある。”

- ・働く人が幸せになってこそその法人であり、幸せであってこそ良い生活支援ができる。
さらに、よい生活支援を通じて、地域貢献ができる。(但し、利用者の犠牲のうえに成立してはならない。)

(2) 経営理念

“信頼と誇り”

- ・利用者の皆様の信頼、ご家族の信頼、地域の信頼を得るとともに、職員同士の信頼関係がよりよい生活支援を生む。
- ・専門職としての誇り、施設への誇り、法人への誇りが持てる職場づくりをする。

(3) 生活支援理念

“あなたの笑顔こそが私たちの喜びです。”

- ・職員の喜びであるとともに、法人の職員へのメッセージでもある。

(4) 人事理念

“質の高い生活支援は、質の高い職員から提供される。”

- ・特にその場で提供され消費されてしまうケアの質は、質の高い職員が担保することから、いい人材の確保と人材育成の体制を整備する。

2. 基本原則

- (1) 私たちは、利用者の皆様の基本的人権を尊重し、その人らしさを大切にします。
- (2) 私たちは、地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様から必要とされる施設を目指します。
- (3) 私たちは、利用者の皆様の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人づくりを目指します。

3. 行動指針

- (1) 私たちは、利用者の皆様に職業的に接するのではなく、まず人として接することを心がけます。
- (2) 私たちは、“利用者のために”ではなく、“利用者の立場”になって考え方行動することを心がけます。
- (3) 私たちは、気づく力を大切にし、常に専門性の向上に努め、安全で安心な生活支援の提供を心がけます。
- (4) 私たちは、利用者の皆様の様子を説明する機会を多く持ち、ご家族との連携を密にし、信頼関係が築けるよう心がけます。
- (5) 私たちは、施設の開放はもとより人材を地域に広く開放し、「資源としての施設」として地域の皆様から信頼されるよう心がけます。
- (6) 私たちは、常に自己研鑽に励み、福祉の専門職として資質向上を常に心がけます。

4. 生活支援方針

- (1) 私たちは、施設が利用者の皆様の生活の場であることを念頭に置き、常に快適な生活の場であるように努めます。
- (2) 私たちは、介護・看護が一方的になつていなか常に自己点検を行い、批判については謙虚に受けとめます。
- (3) 私たちは、介護・看護にあたり、なぜそのことが必要なのかの理由（エビデンス）を説明できるように努めます。
- (4) 私たちは、利用者、家族からの苦情・意見等に対しては誠意を持って適切に接し、是正・改善に取り組みます。

5. 中期計画

【ビジョン】

- ・法人への信頼を築きあげる。
- ・人を大切にし、人が育つ法人をつくる。
- ・利用者の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす。

(1) ハード面

- ① 機械設備の点検等を定期的に行うことにより異常を早く見つけ、故障を少なくし耐用年数を少しでも延ばす。

(2) ソフト面

- ① 安全で安心な生活支援の提供を基本とする。
- ② 利用者の皆様が、居心地の良い施設を目指す。
- ③ 利用者の皆様の自立を促すことにより、介護の負担を軽くすることを心がける。
- ④ 法人の目指しているものと職員のマインドを合わせる研修を実施し、帰属意識の高い職員の育成を行う。

6. 事業計画

重点目標「“ありがとう”がたくさん集まる職場を作りましょう。」

(1) 社会福祉法人 能生名立福祉会

- ① 収支差額を黒字にするため、収入・支出内容の見直しを行う。
- ② 職員の資質の向上のため、外部研修に積極的に参加するとともに、内部研修も充実し職員の意識を高める。
- ③ ボランティア団体等との連携や学校等との交流を積極的に図り、地域のなかの施設としての役割を一層充実させる。
- ④ 利用者の皆様の安全・安心のため、最善を尽くす。
- ⑤ 職員間のコミュニケーションを図り、人材の定着につなげるため、サークル活動に助成する。
- ⑥ 地域社会への貢献として、各地区のサロン活動に対して助成する。

(2) 特別養護老人ホーム おおさわの里

重点目標「安定した収入のため、空床をなくす。」

「従来型」

<あやめ棟>

① 目 標

- ・利用者の皆様が安心して過ごせるようなケアを行っていきます。

② 実施計画

- ・職員同士が協力してケアを行えるように、「ほうれんそう（報告、連絡、相談）」を徹底する。

<かえで棟>

① 目 標

- ・利用者の皆様が安心・安楽に過ごしていただけるように、職員一人ひとりが協力してケアを行います。

② 実施計画

- ・他職種との連携が行えるよう、報告・連絡・相談をきちんと行います。
- ・利用者の皆様が安心できるような言葉掛けを行います。

<すみれ棟>

① 目 標

- ・利用者の皆様の意思を尊重し、嫌がるようなケアはしない。
- ・利用者の皆様の変化に気付ける力を養い、不利な状態におかない。

② 実施計画

- ・定期的なユニット会議にて、情報の伝達・共有を図る。
- ・思い込みによる仕事はしないようにする。

<さくら・ゆり棟>

① 目 標

- ・利用者の皆様が安全で安心して生活が送れるよう、考えながら一つひとつケアを行う。

② 実施計画

- ・ユニット会議を開催し、情報を共有する。
- ・平常心を保ち、ケアを行う。
- ・相手の立場に立ったケアを行う。

「ユニット型」

<さつき棟>

① 目 標

- ・入居者の皆様、働いている職員が、ともに幸せに笑顔でいられるよう、ユニット作りを目指します。

② 実施計画

- ・「今、何をすることが大事か」ということを、常に考えます。
- ・「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
思いやりの心を、常に持ち行動します。
- ・職員は常に自己研鑽に励み、人として成長し、資質向上に心がけます。

<わかば棟>

① 目 標

- ・利用者の皆様が毎日を安心して過ごし、居心地の良い生活が送れるように、支援していきます。

② 実施計画

- ・職員同士「助け合いの心」を持ちます。
- ・「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」を常に心がけ、統一したケアができるようにします。

<あかね棟>

① 目 標

- ・利用者の皆様が安心・信頼して、自分らしい「暮らし」ができるように、支援します。

② 実施計画

- ・「ほうれんそう（報・連・相）」にて情報を共有し、統一した支援をします。
- ・ユニットケアについて、全員で理解を深めます。
- ・お互いを思いやり、感謝の気持ちを忘れません。

<生活相談員・介護支援専門員>

① 目 標

- ・利用者の皆様、家族の皆様が安心できる支援を提供する。
- ・職員一人ひとりが、個性を生かせるような、風通しの良い職場をつくる。
- ・利用者の皆様に対して、尊厳の気持ちを忘れず、常に相手の立場に立った対応に努める。

② 実施計画

- ・ご利用者、ご家族へのアンケートを実施する。
- ・職員満足度、意識調査を実施する。
※上記を年1回実施し、ケア満足度及び職員満足度を高めていく。
- ・余裕を持ってご利用者やご家族への対応ができるよう、事務作業の進め方を見直し、効率化を進める。
- ・自己覚知を意識し、向上心を持って仕事に臨むことで、仕事の質の向上につなげていく。

<看護課>

- ① 目標
 - ・利用者の皆様が安心安全に生活が送れるよう、他職種と連携をとり適切な看護を提供する。
- ② 実施計画
 - ・情報を共有する。
 - ・評価をする。
 - ・業務の見直しをする。
 - ・他職種とのコミュニケーションを図る。

<栄養課>

- ① 目標
 - ・利用者の皆様が食事に楽しみをもち、美味しく安全に食べていただけるよう努める。
- ② 実施計画
 - ・業務が円滑に進むよう、確認・連絡・見直しを行う。
 - ・他職種との連携を密にし、栄養状態の改善に取り組む。
 - ・利用者の皆様の嗜好に沿った献立作成をする。
 - ・内外の研修に参加し、他職種との交流及び資質向上を図る。
 - ・備蓄食を使用した災害時想定訓練を行う。

<庶務課>

- ① 目標
 - ・施設の顔として、信頼される応対をする。
 - ・担当業務以外のことにも対応できるようにする。
- ② 実施計画
 - ・気付きと思いやりを心掛けた言動（明るい挨拶、丁寧な言葉づかい、整理整頓など）をする。
 - ・コミュニケーションを大切にし、報告・連絡・相談をしつかり行うことにより、情報を共有する。
 - ・先のことにも目を向けて、計画的に業務を進め、時間と心に余裕を持つ。
 - ・必要に応じて各業務のマニュアル等を作成する。

(3) ショートステイ（短期入所生活介護）

- ① 目標
 - ・ご利用者、ご家族がより良い生活を過ごされ、喜んでいただけるようにする。
 - ・事故が起きないように対応し、ご利用者の皆様、ご家族の皆様が安心して利用できるようにする。
 - ・ご利用者の気持ち・立場に立った声掛けを行い、自宅で生活を送っているようなケアを心掛ける。

② 実施計画

- ・職員間で意見を出し合い、情報を共有し、ケアを行う。
- ・職員が笑顔でいられる職場をつくり、ご利用者にもレクリエーションなど楽しんでいただけるような場を提供する。
- ・ご利用者のいつもの様子を観察し、変化に気が付けるようヒヤリハットや日誌に記録を残し、職員間で情報の共有を図る。
- ・声掛けは、ご利用者が不快にならないよう気をつけ、ご利用者の言いたいことを最後まで聞いて対応する。

(4) デイサービスセンター おおさわ

① 目 標

- ・利用者の皆様から『おおさわが一番』と言っていただけるデイサービスにする。
- ・利用者の皆様に『来てよかったです』また『達成感』を感じていただけるデイサービスにする。
- ・利用者の皆様、職員で新しいことにチャレンジする。

② 実施計画

- ・利用者の皆様がしたい事、興味のある事をお聞きし、実行する。
- ・利用者の皆様や職員同士、話しかけやすいような柔らかい表情・態度・口調で業務に当たる。
- ・支援に携わるとき、「できそう」は見守り、様子を見る。様子を見ている間は声掛けを行う。「できない」は、必要な介助を行う。
- ・デイサービスでの過ごし方を見直し、家庭での生活に近づけるよう、できる事している事を話し合う機会を設け実行、評価する。
- ・実施計画を実行しているか、個人目標に向かって進んでいるか、定期的に評価する。

(5) デイサービスセンター さら苑

① 目 標

- ・「自分でできる」を大切に、普段の生活のなかで自信が持てるように支援していく。
- ・自立支援をモットーに、利用者の皆様・地域の方々より選ばれる施設にするため、内外に情報を発信していく。

② 実施計画

- ・正規職員、有期契約職員、職種に関係なく、全ての職員が外部研修に参加し、外から自分たちの現状を確認し、ケアの向上を目指す。また、伝達研修を実施し、新たな情報を全職員で共有する。
- ・地元地域に貢献できるよう活動を計画、実施し、地域との関りを作つて行く。

(6) 在宅介護支援センター さら苑

① 目 標

- ・利用者の皆様が暮らしやすい社会の実現に向け、他職種と連携・協働の促進を図り、介護支援専門員として果たすべき役割や在り方について検討し、資質向上と専門性を高める。

② 実施計画

- ・高齢化社会の進展に伴い、障害者や支援困難、他問題を抱える世帯が増加しているなか、誰もが暮らしやすい地域の実現に向けて、他の専門職との連携強化を図る。
- ・介護支援専門員と他職種との連携・協働をテーマとした研修等に参加し、新たな学びや連携・協働促進に努める。
- ・個別研修計画を定め、災害支援や介護保険に関する知識や技術を習得し、介護支援専門員として果たすべき役割やその在り方について検討を行う。
- ・タイムリーな話題や国の施策に関連する話題等を事業所で共有し、介護支援専門員として専門性を高める。
- ・高齢者支援を図るうえで、医学的知識や認知症対応を深めることは重要である。そのため、医療や行政、地域包括支援センターと連携を深める。

(7) 能生地域包括支援センター

① 目 標

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた連携強化と意識啓発
- ・地域を意識したケアマネジメントを行えるよう、ケアマネを支援する。
- ・権利人擁護が必要な早期発見・早期対応

② 実施計画

- ・民生児童委員、老人クラブの会合に参加し、関係作りをする。
- ・木浦地区公民館に出向き、課題などを聞き関係を築く。
- ・各事業所のケアマネの話を聞く機会を作る。
- ・地域ケア会議を開催する。
- ・サロン活動などを通じ、社会福祉協議会との関係強化を図る。
- ・被害防止のための方策の仕方と相談窓口を周知する。
- ・市の消費生活相談員と連携を図り、必要な情報を地域に発信する。
- ・法人職員向けに、認知症サポーター養成講座を行う。
- ・自己研鑽のために、外部研修に参加する。

(8) ケアハウスハイツ能生

① 目 標

- ・利用者の皆様のライフスタイルを尊重し、充実した生活の場となるように努めます。

② 実施計画

- ・利用者の皆様と会話する機会を多く持ち、信頼関係を築きます。
- ・健康維持と介護予防のため、ミニ講座の定期開催（転倒予防、認知症予防、栄養、感染症など）、手指、頭、体を使ったレクリエーションを実施します。（モノづくり、音楽体操など）
- ・気づく力、アセスメント能力を高めるため、自己研鑽に励みます。

7. 予算関係

(1) 固定資産

① 建物(基本) (厨房床改修工事)	2,311,200円
② 構築物 (アスファルト・白線・柵)	5,454,000円
③ 構築物 (フェンス改修工事)	583,200円
④ 器具及び備品 (カトレア浴槽)	3,780,000円
⑤ 器具及び備品 (業務用洗濯機・乾燥機)	2,623,536円
⑥ 器具及び備品 (電動リモコンベッド 5台)	1,336,500円
⑦ 車輌運搬具 (デイおおさわ・デイさら苑送迎車)	4,744,800円
⑧ ソフトウェア (アマノ就業情報システム)	190,080円

(2) 修繕

① 自動ドア部品交換	250,000円
------------	----------

(3) 事務消耗品

① パソコン 26台 (WINDOWS10～入替)	2,600,000円
---------------------------	------------